

「主催者なし、ステージのような魔力 渋谷ハロウィーン マナー守って」『東京新聞』平成30年10月31日朝刊第22面。

ハロウィーンに関する情報提供及び電話による取材を受け、コメントした。一部記事の内容を抜粋で紹介。

佐々木隆・武蔵野学院大大学院教授（ポップカルチャー）は「仮装しているので、普段より思い切った行動を取りやすい。そこに集団心理を相まって、突飛な行動に走る人も出てくのでは」と話す。ここに酒の力が加われば、過激さも増す。

（省略）「日本では九月からハロウィーン商戦が始まり、三十一日が当日と知らない人すらいる。区の対策は良いが、周知するのが遅すぎた」と佐々木教授。「鉄道の相互乗り入れの影響で、渋谷の地盤沈下懸念されており、規制は避けたいだろうが、このままいけば大変なことになる」と行政、警察、地元商店街によるルール作りを求める。